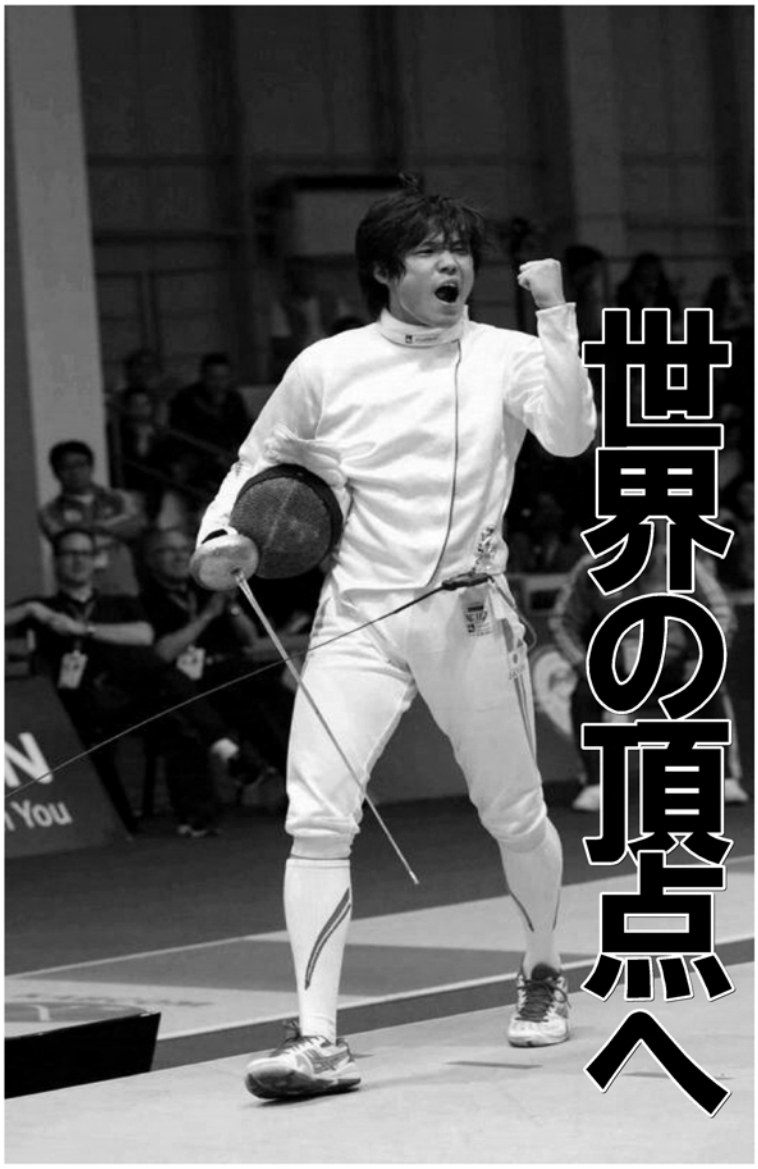
鳥羽市は「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標としています

とばし教育委員会だより

2014.7.1　第２号



金メダルを胸に：左から二人目

快挙　世界ジュニア選手権（フェンシング）で金

世界ジュニア選手権大会が４月８日、ブルガリアで行われ、ジュニア（13～20歳）の男子エペで山田優選手（日本大学２年）が優勝。日本フェンシング協会によると、同種目での日本選手の金メダルは初。この活躍の姿は、後に続く鳥羽高校生や鳥羽の子どもたちの大きな励みになることでしょう。

発行　鳥羽市教育委員会

すこやかな育ちのために…

平成26年度教育予算の状況

幼稚園費　5,003万4千円

○支援員を配置します　117万6千円
○スクールバスの運転のために　193万1千円

中学校費　7,097万3千円

○答志中の側溝・テラスを修繕します　168万円
○鳥羽東中の機械棟のドアを修繕します　102万円
○鳥羽東中に排水路を修繕します　30万円
○学校の修繕をします　235万円
○鳥羽東中のスクールバスの運転のために　349万9千円
○パソコン教育をすすめます　173万4千円
ほか

生涯学習1億9,010万9千円

○図書館の運営のために　3,375万6千円
○市民体育館や中央公園運動施設の管理運営のために　2,141万5千円
○生涯スポーツをすすめます　1,528万円
○公民館活動を推進します　966万5千円
○市制施行60周年記念事業を行います　120万7千円
○TOBAウォークのために　93万9千円
○海女文化の周知・継承のために　50万円
ほか

小学校費　1億158万円

○弘道小に土俵を作ります　205万2千円
○菅島小の屋上に転落防護柵を作ります　200万円
○鏡浦小に遊具をつくります　173万9千円
○鳥羽小のグラウンドに散水栓をつくります　126万1千円
○学校の修繕をします　280万円
○パソコン教育をすすめます　302万3千円
ほか

平成26年度の

市の一般会計予算は

総額103億1,000万円

市民一人あたり49万3千円

そのうち教育予算は

総額6億5,281万円

市民一人あたり3万1千円

共通

○三田市との友好都市交流のために　90万2千円
○小中学校に支援員を配置します　2,222万4千円
○小中学校・幼稚園に専任英語指導講師を配置します　953万9千円
○小中学校に障がいに関する専門巡回相談員を派遣します　15万円
○学力向上の推進のために　161万3千円
○高校生の通学費・下宿費等の一部を助成します　885万1千円
○小中学校・幼稚園の保健安全管理のために　1,926万5千円
○学校給食の運営のために　1億234万8千円
ほか

※主な予算を抜粋しました。詳細は、市のHPをご覧下さい。
http://www.city.toba.mie.jp/zaimu/zaimu.html

三重で国体が開催されます

2021（平成33）年に三重県での国民体育大会の開催が事実上決定。昭和50年の「三重国体」以来46年ぶり。鳥羽市はフェンシング競技の会場になります。

チーム 鳥羽 そこが聞きたい

市民みんなで力を合わせ、鳥羽の教育を高めていきましょう。さまざまな分野の方にその熱い思いを語っていただきます。 スタートは教育長からです。さあどうぞ！

第１回

鳥羽の宝を市民全体で育もう

―鳥羽の良さを活かして―

「私は、日本が子どもの天国であることを繰り返さざるを得ない。世界中で日本ほど子どもが親切に扱われ、そして子どものために深い注意が払われる国はない。」明治初期に来日して大森貝塚を発見したアメリカ人学者モースは、滞在記『日本その日その日』にこう記しています。

天国は大げさ過ぎるが、明治維新を経て貧しい中にも子どもを大切にしている様子を外国人学者は驚きをもって紹介しています。

それから百三十年余り、日本がかつて持っていた良さを無くしてしまい別の国のように感じる現実がある。食事を与えられることなくアパートに閉じ込められ亡くなる子ども。学校に行けないでいる未就学の七百名もの子どもたち。

モースの見た日本はどこに行ってしまったのか？モースの日記から、今の私たち・鳥羽市を振り返ってみる必要があります。

幸いにも、日本には無いが鳥羽市には残っているものがたくさんあります。登下校の途上や、地域の生活の中で子どものことを気にかけて声をかけてくれる人々。奉仕作業に、在籍児童数の五倍もの保護者や住民が参加してくれる地域。

鳥羽市の将来を担う子どもたちを健やかに逞しく育んでいくため、市民全体が一丸となって考え、見守り、関わっていきましょう。

斎藤 陽二　さいとう ようじ

平成十七年に教育長に就任。鳥羽東中に教員、教頭、校長として十六年三ヶ月勤務。鳥羽の子どもたちに元気をもらい、家庭ではメダカに癒されています。

土曜授業を２学期から試行します

教育委員長　大松正嗣

鳥羽市教育委員会では、同じ教科書採択地区であり、スポーツ少年団や中体連などで他の地区より結びつきが強い志摩市教育委員会とともに土曜授業の実施について検討してきました。

その結果、本年度は試行期間とし、2学期以降、学期毎に1回実施し、実施日およびその内容は各学校が決めることとしました。平常授業、総合的な学習の時間、授業参観、学習発表会などが予定されています。そして、本格実施に向け、ＰＴＡ・教職員・校長会の各代表、教育委員会関係者で組織する「鳥羽市・志摩市における小中学校の土曜日の授業協議会」を立ち上げ、検討・準備を進めていくことにしています。

神島小中学校の建設を進めます

教育委員会　総務課

昭和45年建築の神島小・中学校は、老朽化が著しく、また、耐震化が図られていない市内最後の校舎となっています。神島は定期船の欠航も多く、他の学校への通学が困難なため、児童・生徒数の実態に合わせた校舎建築を考えています。計画では、内閣府が公表した神島における最高津波高27mを考慮し、現校舎の裏山を造成し海抜21mの高さに移転新築し、より高台へ避難するための避難路整備も予定しています。現在、造成工事及び校舎建設工事の設計段階で、今後必要な予算や契約について市議会の承認を得て、平成27年度中の完成を目指しています。

子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを

鳥羽市PTA連合会会長　寺本満孝　さん

学校、保護者、地域の方々と協力して、鳥羽の宝である子どもたちの健やかな成長を願い見守っていきたいと思います。普段は加茂地区のスポ少で、子どもたちといっしょにバレーボールを追いかけ汗を流しています。頑張ります。よろしくお願いします。

スポーツ活動中の熱中症予防5か条

①暑いとき無理な運動は事故のもと ②急な暑さに要注意 ③失われる水と塩分を取り戻そう ④薄着スタイルでさわやかに ⑤体調不良は事故のもと

おめでとうございます

三重県中学校
春季相撲選手権大会
団体優勝

がんばる子どもたち

≪鳥羽東中学校特設相撲部≫

5月4日、津市で行われた三重県中学校春季相撲選手権大会で鳥羽東中が団体優勝をしました。鳥羽東中学校の優勝は10年ぶり2回目です。厳しい朝練に耐えた5人の部員と熱心に指導いただいた先生方の大きな大きな成果です。

押しの強さは三重県一です！

事務局スタッフが変わりました

４月の人事異動で教育委員会事務局の三つの課の課長が変わりました。

総務課長　下村 悦生

22年ぶりの教育委員会勤務です。隔世の感を覚えることが多いですが、しっかり勉強して鳥羽の子どもたちのために頑張ります。趣味は木工です。現在のところ作品は破けそうなテーブルが一つ。飽きっぽい所が弱点ですが、何事にもじっくりと取り組みたいと思います。

生涯学習課長　世古 雅人

就任から3カ月、社会教育団体やスポーツ団体の会合や施設訪問など、これまでに経験のない多忙な日々を送っていますが、知らない多くの方と交流できることを喜びに感じています。多くのみなさんにスポーツ・文化活動に参加していただけるよう努めていきます。

学校教育課長　浜田 浩

3月まで安楽島小学校に勤務していました。学校の主人公は子どもたちです。子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、学校現場第一で仕事をしていきたいと思います。趣味は映画鑑賞。メタボ対策で時々職場まで歩いてます。見かけたら声をかけてください。

文化財紹介　海女文化

本年1月23日に、海女漁が県を代表する重要な民俗として認められ、「鳥羽・志摩の海女による伝統的素潜り漁技術」として、三重県の無形民俗文化財に指定されました。今後は、海女保存会を中心に諸機関と協力し、海女漁の存続・保存と後継者の育成を目標に活動を行っていく予定です。将来的には、ユネスコの無形文化遺産への登録を目標にしていますが、現在は登録への条件となる国指定文化財への指定に向けて、海女についての調査などが行われています。

編集後記

山下教育委員

教育委員になって、各学校を訪問させていただく中で思ったことは、校舎の割りには子どもの数がとても少ないことです。あるＴＶ番組で言っていたことですが、「経済を活性化させる一番よい方法は、子どもの数を増やすことだ」と。まさにその通りだと思います。子育てのしやすい鳥羽になればなあ…

ご意見ご要望をお寄せ下さい

鳥羽市教育委員会総務課　☎ 0599-25-1261　FAX 0599-25-1263
E-mai kyouiku-soumu@city.toba.mie.jp　お待ちしています。